事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		17人			17人

前回の改善計画

ニーズが分かりづらいご家族には、担当職員が積極的に関わりを持ち現状と違った情報を収集し支援内容に反映していく。
フェースシートの変更・更新・マニュアルは各自、責任を持って徹底した確認を行い職員間が協力し活発に
コミュニケーションを取って行く事で意識付を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員が定着していることで、ご家族との関わりも持ちやすくコミュニケーションを図り、情報共有や傾聴するよう努め
職員間の情報共有もスムーズに行えているが、得た情報を記録することやフェースシートの更新を行うことが十分に
出来ていないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	8人	8人	1人		17人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3人	13人	1人		17人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8人	7人	2人		17人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3人	12人	2人		17人

できている点

看護師も関わることで、医療情報・緊急時の対応等の連携も取れている。
職員のメンバーが定着していることで、情報の共有やコミュニケーションがとりやすい環境である。
利用者の不安を軽減するため、傾聴や声かけをする取り組みや現状と違った情報や体調の変化等、ご家族に電話で
細かく知らせる様努めている。

できていない点

フェースシートの更新・変更に努めてきたが、職員の認識の相違や得た情報が共有出来なかったり、口頭での伝達で
終わってしまいフェースシートの反映できていないことが多い。

次回までの具体的な改善計画

新規利用者の利用開始前に担当者を決め、要望や課題を捉えるアセスメントの視点を持つよう意識付けを行い、
今後もフェースシートの活用も行っていき、変更・更新が行い易いよう、個々のケア記録に綴り、情報を
正しく見える化していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	14人			17人

前回の改善計画

ケアプラン・モニタリング等のファイルの確認する習慣ができる様、検討していく。
今後も支援方法について検討・修正・変更を重ね自己実現に向けての支援を継続的に提供していく。
「その人に応じたケア」パーソン・センタード・ケアの研修会を開催し認知症ケアの質の向上を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

担当制であることで、支援内容・方法の検討が行いやすくケアプラン・モニタリングの確認・情報共有も行えているが習慣化するまでには至っていない。
パーソン　センタードケアの研修を行い尊厳を支えるケアの実践に努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		16人	1人		17人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		15人	2人		17人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		14人	3人		17人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3人	13人	1人		17人

できている点

ミーティングやカンファレンスの機会を多く設けることで、必要な情報が職員全体に正しく伝わり、共有でき
職員間で問題や課題を話し合い検討・見直しを行い目標に向け支援を行っている。

できていない点

担当以外の利用者・個々のケアプランや目標が把握出来ていない。
利用者一人ひとりに応じた1日の過ごし方が工夫出来るよう関わりが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

利用者の思いや希望を十分に聴き取れる様にコミュニケーションの重要性を認識し、ライフストーリーを傾聴することで得た内容をミーティングで情報発信を積極的に行っていき、より深い利用者理解へとつなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
３．　日常生活の支援	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		14人	3人		17人

前回の改善計画

キャリア段位制度による実践的スキルの評価を行い介護技術や利用者視点でのケアの統一を図る。
エビデンス（根拠）を基に客観的記載になるような記録の書き方の勉強会を行いスキルアップを図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

キャリア段位制度によるアセッサー資格を3名が取得することができたが、レベル認定獲得には至っていない。
記録の書き方については、勉強会にて、意識の統一を図った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		7人	10人		17人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7人	10人			17人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1人	14人	2人		17人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8人	8人	1人		17人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	4人	12人	1人		17人

できている点

利用者の体調変化に気づいた場合の手順や適時・適切な医療への連携と提供がなされている。
利用者の栄養状態を把握し、栄養スクリーニングを行い記録し低栄養のリスクが高い利用者を管理栄養指導へとつなげることを実施している。
利用者の心身の状況や意向を踏まえ自然な排泄を促す支援を行っている。

できていない点

ご本人の今の生活が重視されており、以前の暮らし方についての情報収集が不足しており、個別性が引き出されていない。
利用者に合わせた対応、介護技術に関しては、特に職員にバラツキがあり、統一化されていない。

次回までの具体的な改善計画

自分たちが、行っているケアの意味や根拠をしっかり押さえて行くため、ケアの振り返りの時間を確保していく。
キャリア段位制度による、ケアのエビデンスを積み上げ一定の認識を作り、介護技術を可視化し実践的スキルを測って行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	15人	1人		17人

前回の改善計画

WHO(世界保健機関）のICFを活用することにより、それぞれの関係性も考慮しながら、利用者のとりまく環境の情報収集を行っていくことにより、個々に合った幅広い地域資源の活用を検討していく。
地域交流会を持てる様、計画を検討し実施していき地域との関係性を継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

「環境因子」「個人因子」を含めた利用者の生活の全体像を捉え、ICFに基づくアセスメントの視点を理解できるよ勉強会を行った。
地域交流会を計画し利用者を取り巻く方々との大規模な外出支援を行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		16人	1人		17人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人	15人	1人		17人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2人	12人	3人		17人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1人	11人	5人		17人

できている点

地域交流のための外出支援や季節の行事への参加を通して、地域との交流の機会は増えている。
職員が定着していることで、地域・ご家族の方と顔なじみの関係性も少しずつできている。
文化祭で作成した作品を地域に展示している。

できていない点

地域の中での事業所の役割りやご本人がこれまで、地域の中でどのように暮らしてこられ、今後どのように関係を繋いで行くのかという視点での取り組みが不足している。
事業所が地域の拠点としての交流が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

これまでに活用できていない、地域ボランティアの要請や、地域の交流サロン・認知症カフェを活用・参加することで利用者の活動の幅を広げて行きたい。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	14人	2人		17人

前回の改善計画

全職員が地域資源について、把握できる様、内部研修等で理解を深める。
担当職員が利用者の住み慣れた地域での活動や行事に参加できる様、働きかけを行う。
多様なニーズに結びつけられる様、過程や結果を記録することでチーム全体での課題解決に取り組みサービスの個別の多様性を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

外出・地域の行事への参加等、社会参加は定着している。
社会資源について、勉強会で学び理解出来るよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4人	10人	3人		17人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7人	10人			17人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6人	10人	1人		17人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6人	10人	1人		17人

できている点

利用者のニーズを充足したり、問題解決するためにフォーマルな社会資源の活用が出来ている。
利用者の状態により、柔軟なサービスの提供が出来るよう多職種で連携を図りミーティング等で話し合い支援することが出来た。

できていない点

インフォーマルな社会資源の活用が不足している。
地域行事の参加については、体調や身体状況を考えると限られた利用者となってしまう。

次回までの具体的な改善計画

今後も、地域行事への参加等、活動の多彩化を図っていく。
家族やボランティア（車椅子マイスターや傾聴ボランティア）等を利用することで、サービスの幅を広げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
６．　連携・協働	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	12人	2人		17人

前回の改善計画

今後も地域包括センターとの研修の機会や業務協力の働きかけを行っていく。
サービス担当者会議の記録も全ての職員が周知していくことで、連携や協働に関して職員が把握できるよう努めて行き
今後も地域行事の参加は積極的に継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域包括支援センターへ研修の依頼を行い、センター職員と業務協力の体制作りに向けて努めてた。
サービス担当者会議に各担当者が出席し、職員全員が内容を確認出来るよう、議事録のファイルにて確認も出来た。
地域行事には積極的に参加した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	7人	6人	3人	1人	17人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3人	11人	2人	1人	17人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5人	10人	2人		17人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3人	10人	3人	1人	17人

できている点

運動機能向上の指導を受け多職種連携シートで情報共有することや退院カンファレンス等で利用者のADL・健康状態について、連携・協働が行えている。
事業所の行事に地域の方や小学生に参加して頂いている。

できていない点

事業所の行事等を地域の方へ発信出来ていない。
事業所としての交流の場になっていない。

次回までの具体的な改善計画

事業所内の勉強会に地域の方やご家族に参加を呼びかけることで、事業所が交流の場となるよう、事業所の取り組みを広報し発信していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
７．　運営	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	7人	9人	1人		17人

前回の改善計画

地域の方や利用者・ご家族が参加しやすい取組みを企画し、参加頂けるよう情報を発信していく。
利用者・ご家族からの苦情対応体制の見直しを行う。
SWOT分析に関して、再度確認し意見交換を行う事で新たな課題を探って行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

苦情に対する体制を見直し事業所独独自の苦情マニュアルを作成し、対応担当者を決め運営の反映に努めた。
利用者やご家族と外出支援を企画し、参加して頂いた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4人	10人	3人		17人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6人	10人	1人		17人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	9人	4人		17人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2人	12人	3人		17人

できている点

事業所独自の苦情マニュアルを作成したことにより、解決の道筋がわかりやすくなり、苦情があった際に職員全員で情報共有・検討を行っている。
徘徊模擬訓練や防災訓練を地域の方と協働して取り組むことが出来た。

できていない点

苦情としての判断基準に曖昧な部分があり、苦情を苦情と捉えていないことがある。
最終的な改善が周知徹底まで至っていないことがある。

次回までの具体的な改善計画

苦情報告書の書き方や苦情としての判断基準に曖昧な部分があり、統一されていなかった為、再度マニュアル・手順の確認を行っていき職員間での周知徹底に努める。
地域の中での事業所のあり方をどのように捉えるか,「現状の問題点」「あるべき状態の解決策」について職員間で話し合う時間を確保していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		17人			17人

前回の改善計画
キャリア段位制度を活用した0JTを通した人材育成を行い職員のスキルを向上していく。 地域連絡会に関しては、人員調整も行っていくが、議事録を作成し内覧していく事で、内容や仕組みを理解して貰い参加できる様、今後も調整に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
アセッサー資格を3名が取得した。0JTを通した人材育成は、今後の取り組みとなった。 議事録の内覧を通じて、事業所での地域連合会議に関する情報共有を図ることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	11人	6人			17人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	11人	3人		17人
③	地域連絡会に参加していますか		6人	10人	1人	17人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	4人	13人			17人

できている点
リスクマネジメントによる発生リスクの予測・リスクの回避策・起きた場合の対応策を明確にし、記録に残すことができている。勉強会ののテーマにも取り入れた。 自己研鑽の報告を行いスキルの向上に繋げ、資格取得や外部研修への参加目標を計画することで、参加率も増加している。

できていない点
インシデントの回避策・対応策を論じ、対応策を情報共有し実践していく中で、時間の経過と共に職員の意識が薄れて行き継続しないことがある。

次回までの具体的な改善計画
リスクマネジメントと安全管理を抱合したセーフティーマネジメント体制を整えて行く。 職場内研修が単なる報告会や形式的な開催とならないよう、目的・目標を明確にして行ける内容とし工夫していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年　11月　27日　（火）（15：00～16：00）
９．　人権・プライバシー	メンバー	植田・山本・杉山・松浦・岩本・長富・能美・古田 野端・沖田・河村・岡本・氏次・田中・小泉・石橋 金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5人	10人	2人		17人

前回の改善計画

配慮に欠ける言動について、無意識や油断に繋がる事が多いことから、配慮に欠ける場面があった時には、その場の職員間で声かけを行い改善していく事を日常化していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

勉強会等を通じ、身体拘束・虐待・プライバシー保護について学び意識するように努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	12人	15人			17人
②	虐待は行われていない	11人	16人			17人
③	プライバシーが守られている	3人	11人	3人		17人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6人	10人	1人		17人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	10人			17人

できている点

配慮に欠ける言動について、個々に指摘することもあるが、職員間で話し合いケアに生かしている。

できていない点

利用者への言葉使いに対する配慮や節度ある接し方がなされていない。
介護者主導で行われる場面や介護者本位の言動であったり、説明と同意が不十分である。

次回までの具体的な改善計画

利用者への言葉使いや接遇に関する継続的な検討の場や研修を実施し、職場で守るべきルールや介護職として求められる高い倫理性について周知していく。
職員の意識啓発のため、定期的に人権擁護に係る研修等を実施していく。